

令和4年度 鹿児島市立星峯西小学校 学校経営・運営のグランドデザイン

【資料1】

学校・家庭・地域が連携・協働し、子ども一人一人に「生きる力」を育む星峯西小学校プランⅡ

子ども一人一人に「生きる力」を育むために、どのような考え方の基に取り組みばよいかを示してある。学校の取組1：職員研修の充実

①学校経営・運営の基本的な考え方ー鹿児島市教育振興基本計画を踏まえた

学校経営方針の概要

◆学校が抱える重点課題は、次の3点だととらえています。

- ①学力向上 (学校内の授業改善、補充指導の充実、学習の仕方の習得、家庭での学習の習慣化など)
- ②基本的な生活習慣の確立 (早寝早起き朝ごはんによる規則正しい生活リズムの確立、電子機器等のルールやきまりづくりなど)
- ③教育の情報化に伴うデジタル化への対応 (タブレット端末の活用、デジタル通信システムの構築とタイムリーな情報発信等)

教育活動の成果を説明する図表

y=at+b

y:今年度の教育活動の成果
a:(a1学校+a2家庭+a3地域)の教育力
t:(t1学校+t2家庭+t3地域)での時間
b:前年度までの教育活動の成果

令和3年度4月からスタートした「学校、家庭、地域が連携し、『生きる力』を育む星峯西小学校プラン」に基づき、「確かな学力」、徳・豊かな人間性、体：健康・体力の育成のための具体策を立案し、実行。その成果、課題などを総括し、次年度へ確実に結びつける。

【学校経営・運営の基本】

- ①「閉じる」→「開く」……説明責任、結果で示す
- ②「対立」→「協力・連携」……協調性、「共に」の姿勢
- ③「叱る」→「褒める」……質の高い指導・教育力

そのためには教職員と保護者のTW(チームワーク)&TP(チームプレイ)が重要!

②学校、家庭、地域が抱える課題

子どもたちのために学校、家庭、地域が連携・協働すべき理由とは

9h(8:00-17:00) 学校

13h(19:00-8:00) 家庭

2h(17:00-19:00) 地域

学校、家庭、地域が連携・協働し、「生きる力」を育む星峯西小学校プランの概要図

③三者の信頼、vision、理念の共有

すべてのメンバーと共有すべきこと

学校経営の基盤:ビジョン、理念、信頼関係

夢 VISION

子どもFirst

理念 理念

教職員・保護者・地域との信頼関係

※信頼される学校づくり推進委員会

④教育課程編成の4つの柱

※社会に開かれた教育課程の実現

次年度教育課程編成に当たっての4つの柱

- ①今年度の成果と課題を確実に集約→成果はより一層の充実を図る。課題は確実に改善策を反映させる。※新型コロナウイルスによる臨時休業への対応
- ②「教育の情報化」に向けた教科・領域等の指導計画 ※1人1台タブレット端末の活用とデジタル教材の積極的な活用。教師の指導技術・スキルアップを図る職員研修等の実施。デジタルとアナログのよさを組み合わせた実践。一層の優れた指導力が全体に還元される仕組みの構築
- ③(保・幼)・小・中連携、学校・家庭・地域の三者連携の視点で教育課程を更に充実・改善する。
- ④学校における「働き方改革」業務の簡素化・効率化等 ※デジタル化への対応(アンケート調査、資料の活用、授業改善のPDCAサイクル)学校・保護者等に対する連絡手段、児童・生徒の連絡システムの構築などデジタル活用システムの積極的な活用

鹿児島市立星峯西小学校 Scrap & Build

ホトムアップ & トップダウン

令和4年(2022年)はどんな年?

◆新型コロナウイルス感染症は? With Corona(ウィズコロナ)・・・コロナと共存 After Corona(アフターコロナ)・・・コロナ禍後 Post Corona(ポストコロナ)・・・アフターコロナと同義

不易流行 持続可能な Sustainable

松尾芭蕉「去来抄」から

そんな中で学校教育の現場は?

学習指導要領完全実施3年目、「教育の情報化」への対応、学校における働き方改革などGIGAスクール構想、「未来の教室 Learning Innovation」の本格稼働、R4児童生徒一人一人にタブレット端末を完全配備、本格稼働、学習者用デジタル教科書、学校・家庭間のデジタル通信システムの本格運用等→今の現役世代が次世代を育てる。社会の急速な変化に対応できる教職員が正に求められている。自己研鑽。

今後のタブレット端末の有効活用方法について

◆授業と授業以外(補充指導)及び家庭学習をしっかりと関連付けた学習指導システムの構築

◆アナログ学習のよさとデジタル学習のよさを組み合わせた学習指導システムの構築

◆デジタルドリル、AI教材の有効活用法 ※「タブレットドリル」(東京書籍)3学期から試行→令和4年度本格導入の可能性を探る

本校におけるオンライン授業実践等(学年チーム)

- 1/22(水)4年生(104名対象)リアルタイム型(理科)反転授業 単元月や夏の見え方 (Microsoft teams+ロイノート使用)
- 2/9(水)5年生(121名対象)リアルタイム型(理科)反転授業 単元月や夏の見える化 (Microsoft teams+ロイノート使用)
- 2/9(水)5年生(109名対象)リアルタイム型(図工)反転授業 単元月や夏の見える化 (Microsoft teams使用)

※学校全体にタブレット端末を活用したオンライン授業を普及させるために

①学年チームで主体的に授業工夫を凝らしたオンライン授業を企画立案、実施

②各教科領域の授業を模範授業として構築する

③担任一人ひとりでオンライン授業を企画・立案して実践

学校の取組2：研究授業の実践

これまでの取組と今後の研究の方向性

「確かな学力」:知育:校訓かしこく

すべての教科領域で情報活用能力を基盤に育成する

授業改善 + 補充指導 + 家庭学習改善

デジタル学習指導 (学習者用デジタル教科書等、タブレット端末、デジタルドリル、AI教材、ロイノート、テレビ会議システム等)

アナログ学習指導 (紙の教科書、ドリル、ノート、家庭学習ノート等)

授業における学習過程と学習形態との関係

【学習形態の基本的な展開】

一斉 → 個 → ペア又はグループ → 一斉

【学習過程】

つかみ・見通す → 調べる・考える → 深める → まとめる・つなぐ

主体的・対話的で深い学び

1 学習指導の充実
◆指標となる調査
○全国学力・学習状況調査
○鹿児島学習定着度調査
○NRT
◆授業の基本型
○西小ベーシックに基づく授業改善
◆学力補充指導
◆家庭学習の確保
○学年×10+20分
○家庭学習ノート
○ノーマディア
2 教育の情報化
GIGAスクール構想
◆タブレット端末、デジタルドリル等の有効活用の研究

学校の取組3：補充指導体制の整備

◆目標値等

- 単元、学期末テスト85点以上
- 漢字力・計算力定着90%以上
- NRT偏差値ss54
- アンダー・アッパー0
- 全学テ、鹿学テ県・全国平均以上
- ※全国学テの結果 H30:全国平均以上 H31:全国平均以上 R2:中止 R3:全国平均以上
- ※鹿学定の結果 R1:+1p R2:▲4.4p R3:県平均以上

授業改善 + 補充指導 + 家庭学習

西小ベーシックに基づく授業改善(各種研究授業を通じた職員研修)

きめ細やかな補充指導の新たな取組(時間・場・回数及び指導体制等)

家庭の教育力アップ 共通実践事項の取組 (家庭学習ノートの活用 教育環境、見届け等)

家庭学習(オンライン授業を除く)における学習形態・場面

B 個別学習

デジタル教材などの活用により、自分のペースに合わせた学習や、自分のペースで学習することが可能となる。また、一人一人の学習進度を把握することにより、個々の学習や課題の進度に応じた学習を構築することが可能となる。

1: 身に付ける学習
2: 授業活動
3: 表現・制作
4: 家庭学習

アナログ学習とデジタル学習の融合

徳：なかよく：「豊かな人間性」

1 道徳教育・人権同和教育の充実 (ここにこ月間、標語)

※命の教育の充実

2 体験活動を取り入れた活動の推進 (郷土の素材発掘)

3 ボランティア活動の推進 (朝ボラ、清掃)

4 思いやりの心をもち、仲良く助け合う学級・学校づくり (月1回いじめアンケート)

5 けじめのある生活態度

6 積極的な生徒指導

家庭との連携策

学校、家庭、地域が連携し、「生きる力」を育む星峯西小学校プランの概要図

学校、家庭、地域が連携し、「生きる力」を育む星峯西小学校プランの概要図

学校

子ども

家庭

地域

連携

連携

連携

体：たくましく：「健康・体力」

1 めあてをもった継続的な体力・気力づくり

2 体力・運動能力の伸長

3 正課体育の充実 (集団行動の徹底)

4 勤労体験活動の充実 (委員会、清掃)

5 食育の実施 (早寝早起き朝ごはん、野菜栽培等)

6 子どもの健康安全対策 ※新型コロナウイルス感染症対策

地域との連携策

本校PTA活動研究テーマの設定について

鹿児島市PTA連合会努力目標

生涯学習の観点に立ち、活力ある健全な児童・生徒を育成するため、家庭・学校・地域との緊密な連携を図りながら、共に学び実践するPTAを目指す。

学校の教育課題

本校PTAの課題

校区・地域の課題

星峯西小学校PTA研究テーマ

学校、家庭、地域が連携し、「生きる力」を育むPTA活動

～星峯西小学校 家庭教育力アップ共通実践事項の取組～

星峯西小学校 PTA研究テーマ

学校、家庭、地域が連携し、「生きる力」を育むPTA活動

～家庭教育力アップ共通実践事項の取組～

読書活動(うち読)

知育:かしこく

ノーメディアタイム

あいさつ運動(家族・近所)

生きる力

早寝・早起き朝ごはん

健康:なかよく

体育:たくましく

一家庭一家訓

家庭の教育力アップ共通実践事項設定の仕方(例)

※学年に応じて子どもが10時から就寝 ※午前6時から7時までの時間帯で実施(時間短縮)を希望する。

①読書活動(うち読)20分

②ノーメディアタイム

③一家庭一家訓手伝い等

児童氏名 年

家庭であいさつ学校・地域・家族・一家庭一家訓をしよう。

※学年に応じて毎日、継続して取り組むように。再開日(19:00-20:30)や時間短縮などで設定する。できるだけ継続して取り組むように。

※家庭でのお手伝いを中心にルールや習慣などを設定する。できるだけ継続して取り組むように。(例)「お風呂を毎日する。」

※地域の特色、人材等を活かした教育

【特色ある教育活動】茂頭の棒踊りの練習を始めた(5年生) 2021年06月25日

5年生が「茂頭の棒踊り」の練習を始めています。地域の棒踊り保存会の方に来ていただいて、棒踊りの由来や踊りに込められた思い、願いについて説明を受けました。今は、6尺棒と3尺棒のそれぞれのグループの基本的な動きをしっかりと覚える段階です。

【読書活動】校内読書週間 読み聞かせ活動を行いました 2021年11月10日

読書の秋、11月9日(火)から校内読書週間がスタートしました。朝の読書タイムの時間にボランティアグループの方々に来校され、子どもたちに読み聞かせを行ってくださっています。

【総合的な学習】3年生が星峯の歴史・くらし・食べ物について学びました 2021年11月13日

11月13日(土)3年生が総合的な学習の時間に星峯について3コース(学校・歴史コース、くらしコース、食べ物コース)に分かれて外部講師の方を招いて体験学習をしました。

成人学級、おやじの会のしめ縄、門松づくりの様子 2021年12月19日

12月19日(日)9:00～11:30で地域コミュニティ成人学級とおやじの会が恒例のしめ縄と門松づくりをしてくださいました。しめ縄、門松づくりはここ20年条件づいてのこと。この活動の再開はいいことばかりで本校の保護者だった成人学級の方々、現役世代のお父さん方への伝承を引き継いでおられるところです。